

活動報告

出前授業「猪名川自然再生プロジェクト」 / 「猪名川町防災士の会」マイ・タイムライン講師養成研修 / ヒメボタル観察会 /
出前授業「池田市地域まるごと環境学習」 / みんなのサマーセミナー2025 / 水環境交流会いながわ体験フェスタ2025

トピックス

おしゃらせ 第14弾猪名川のい～な！作品募集／ 第54回尼崎市民まつり

1

第11章 治理结构 / 第3节 品牌策略 / 第33节 直营与代理模式 / 10

活動報告

志築河川レノジヤーによること
皆さん真剣に聞いてくださいマイ・
行わっていました。2名の方に自由
いただいたので、各自の考えで作
できたと思います。

猪名川町を対象とした防災の講義の後、実際にマイ・タイムラインを作成し発表していました。研修後には「マイ・タイムラインの普及は非常に意義がある」ととわかった」「子供向はん講習をしてみたい」等の感想をいただきました。

A group of approximately ten people wearing orange safety vests over dark shirts are seated at long tables in a conference room. They are facing a front where a man in a blue short-sleeved shirt and dark trousers stands, gesturing towards a large projection screen. The screen displays text in Chinese characters. To the right of the speaker, a flag is visible. The room has wooden paneling on the walls and a polished floor.



5/18
日

水谷河川レンジャーなること
短い実施時間でしたが、親御さんがお子さんの補
スムーズに進行できました。親子で参加いただいく
入った講座も実施できると、手応えを感じました。

「そんなの！」と声が上がりました。
※池田市による、猪名川の環境をより良くなりたい等を目的とした市民参加型の取り組み。通称「ひなアロ」。

ジャーが水質調査体験の講師をうつとめました。まず、猪名川の水質が高度経済成長期に大きく悪化したこと、下水処理場の整備等によって、現在は清流の魚が住めるほど水質が改善したことを説明しました。その後、川の様子を間近で観察してパックテストによる水質調査を行い、猪名川の水がきれいなことや水質を守るために必要なこと等を学んでいただきました。猪名川の水にジユースをわずかに混ぜただけで、魚がすめないほど水質が悪化確認した参加者からは「ほんの少しのジユースで

猪名川自然再生プロジェクト※より「依頼をい

**4/19
土**
出前授業「猪名川自然再生プロジェクト」
実施場所：猪名川河川敷地田市 猪名川

ピックス 猪名川の歴史紹介 意外と広い(?)

原口河川レンジャー

田中河川レンジヤーよりひとこと
今年初めて来られた方と、昨年も
されていました。

【協力】猪名川ヒメボタルの会(事前現地調査、当日運営等)

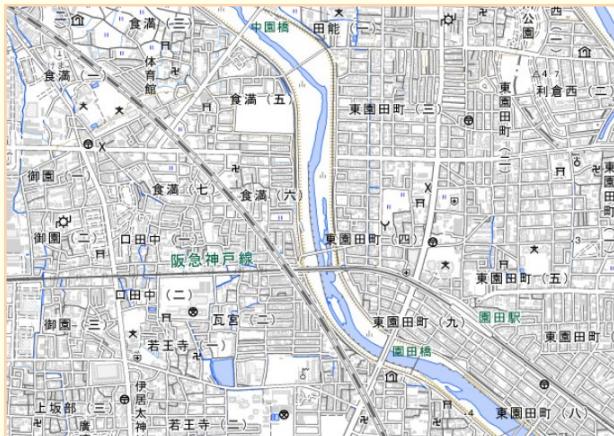
十四の発光が見られました。近隣から約230人の参加があり「身近にホタルがいると知らなかつた」「ホタルが住める環境を守りたい」等の感想をいただきました。

5/23
金
ヒメボタル観察会

実施場所：猪名川河川敷（伊丹市）

参考文献
『apedia』(Web記述書籍)・國田充・森・國田弘
<https://www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp/chronicles/vis>

「園田村」に由来します。園田村の村役場は藻川の右岸側、かつて園田支所があつた場所です。住所は尼崎市御園…。実は「園田村」の名は、御園の「園」とかつての村内に田園風景が広がっていたことから「田」をとり園田村と名付けられたと言われています。さてこの園田村ですが、東は旧戸ノ内村、西は旧森村（西は現在の南塚口町（阪急塚口駅南側）辺り）までとにかく広い！の旧森村にできたのがサマセミが開催された園田学園の前身です。明治22年当時の地図（市内各村の位置）は左のJRしからご覧いただけます。

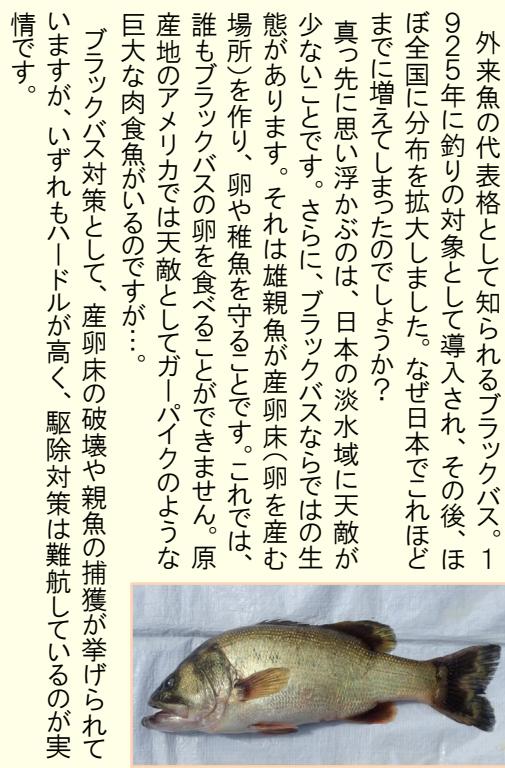


園田駅周辺の地図・地名

6/19 木

出前授業「池田市地域まるごと環境学習」

実施場所：・池田市立神田小学校体育館



トピックス

ブラックバスの驚くべき生態

記事

水谷河川レンジャー



外来魚の代表格として知られるブラックバス。1925年に釣りの対象として導入され、その後、ほぼ全国に分布を拡大しました。なぜ日本でこれほどまでに増えてしまったのでしょうか？

真っ先に思い浮かぶのは、日本の淡水域に天敵がないことです。さらに、ブラックバスならではの生態があります。それは雄親魚が産卵床（卵を産む産地のアメリカでは天敵としてガーパイクのような巨大な肉食魚がいるのですが…）。ブラックバス対策として、産卵床の破壊や親魚の捕獲が挙げられていますが、いずれもハードルが高く、駆除対策は難航しているのが実情です。

田中河川レンジャーよりひとこと
フリータイムの自由学習の時間を子供達も教員の方も楽しんでおられました。パネル等で河川レンジャーの活動もアピールすることができます良かつたと思います。

池田市立神田小学校より4年生の出前授業を受けた感想のほか、猪名川の水質や生き物、河川レンジャーの活動や猪名川の利用等の多くの質問があり、猪名川や河川レンジャーに興味を持つていただきました。



8/2 土

みんなのサマーセミナー2025

開催場所：・園田学園大学

園田学園大学で実施された「みんなのサマーセミナー2025」に原口河川レンジャーが参加し、「猪名川・藻川周辺（園田地区）の歴史や災害について」と題した授業を行いました。園田地区の地名の由来や猪名川の旧河道、水害の歴史などを解説したうえで、防災について、ハザードマップを見る際のポイントや、洪水警報・注意報の発表基準などを説明しました。

参加者からは、「尼崎の水害のことがよく理解できた」「改めて洪水対策をしたい」等の感想があり、猪名川の歴史や防災への関心を高めいただきました。

授業を通して、ハザードマップの見方や洪水の定義などを、参加者の皆さんと確認しました。サマセミの3日前に津波注意報が発表されたこともあり、皆さんも熱心に話を聞かれしていました。来年も引き続き参加したいです。

8/3 日

水環境交流会 いながわ体験フェスタ2025

開催場所：・アステ川西6F
アステ市民プラザアステホール

猪名川で活動する団体や関係機関等が出展する展示・体験イベント「いながわ体験フェスタ」が今年も開催されました。猪名川の生き物観察、投網体験、工作などの様々な体験メニューのほか、流域の中学校・高校や活動団体によるステージ発表も行われ、多くの家族連れで賑わいました。



おしゃせ

市民イベントに出展します！

第54回尼崎市民まつり

- ・日時：10月5日(日)10:00～17:00
- ・場所：尼崎市役所周辺

飲食や物販のブース、展示、体験、ステージ等、お楽しみがいっぱい。猪名川河川レンジャーは「自然環境交流ひろば」に体験展示ブースを出展します。

14 猪名川のい～な！

猪名川の魅力を伝える写真と絵画を募集しています。詳しくは、作品募集チラシ、またはWebサイトをご覧ください。

応募作品はWebサイトで順次公開します。

昨年の受賞作品



猪名川河川レンジャー

お問い合わせ



猪名川河川事務所 工務課

TEL:072-751-1111(代表) 池田市上池田2丁目2番39号

<http://www.iranger.jp>

info@iranger.jp

Facebookでも情報発信中！



Webサイト facebook